



東長崎 PRIDE

HIGASHI NAGASAKI JHS

—ひがながプライド—

長崎市立東長崎中学校
学校だより 第 11 号
令和 4 年 11 月 22 日発行
副校長 川口昌文

自ら誇りと自信を持ち、率先して行動する

長崎市中総体駅伝大会

10月5日に長崎市総合運動公園で長崎市中総体駅伝大会が行われ、本校から男子20名、女子14名の生徒が参加しました。結果は、男子が7位入賞、女子が10位でした。また、男子の1区で区間賞を獲得しました。生徒たちは、7月下旬から駅伝練習に取り組み、朝早くから仲間とともに汗を流しました。9月に入ってから、3年生を中心に朝と夕方の二部練習を行うこともありました。結果としては目標には届かず、悔しい思いをした生徒が多かったですが、これまでの過程で得たものは大きいものではないかと生徒の感想文から感じました。また、3年生から託された「想いの襷」を後輩たちがしっかりと受け止める姿もありました。サポートや応援いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

連合音楽会

10月13日、14日の両日に「第72回長崎市中学校連合音楽会」が長崎市ブリックホールで開催されました。コロナ禍の中で前2年間の開催中止を経て3年ぶりの大会となりました。この音楽会の目的は、長崎市の中学生在音楽学習の成果を相互に発表・鑑賞し合うことで、自己の音楽の表現及び鑑賞の能力を高めることにあります。当日は、合唱や吹奏楽の他に、オーケストラやハンドベル演奏もあり、各学校における音楽活動の充実が感じられるものでした。

本校からは音楽部20名(3年生5名、2年生7名、1年生8名)が参加しました。曲目は「夢見たものは」作詞立原道造 作曲木下牧子 「ぜんぶ」作詞さくらももこ 作曲相澤直人の2曲を無伴奏女声3部で発表しました。他の学校は、学年や学級単位での参加の中に本校音楽部は部活動としてのクオリティを感じさせる立派な演奏でした。この音楽会で3年生は引退していますが、3年生の意志を引き継ぎ、1・2年生も主体的に学び合って成長していくことを期待しています。

ロボットコンテスト

10月9日に創造アイデアロボットコンテスト長崎市大会が行われ、本校から30名が出場しました。

ロボットコンテストとは、部門ごとに設定された課題に合わせて、ロボットを製作し、ロボットを操作しながら得点を競う競技です。

当日は、「応用部門」で優勝、準優勝、「基礎部門」で2チームがベスト8に入るなど、これまでの活動の成果を発揮できた大会でした。この日は雨が降り、少し肌寒い1日でしたが、会場は、出場選手たちの熱気に包まれていました。

11月6日には県大会が行われ、「応用発展部門」で2チームがアイデア賞を獲得し、内1チームが九州大会に出場します。

美術部作品展

10月13日から18日にかけて、長崎ブリックホールで美術部作品展を開催しました。1年生は入部して最初に取り組んだ絵画作品の模写を、2・3年生は静物画を出品しました。模写も静物画も、対象をじっくりと観察しなければ描けません。画力を向上させるためには見る力がとても重要になります。真摯に対象と向き合った結果、素晴らしい作品が出来上がりました。

また、公募展である市民美術展や子ども県展にも出品しました。特に子ども県展はレベルの高い作品が集まる公募展なので、入選・入賞を目標に一年間で最も力を入れて制作しました。特に3年生は三年間の集大成と呼ぶに相応しい作品を完成させることができましたと思います。

スポーツの秋、文化の秋

東長生の活躍がすばらしい！